

情報科学部 2, 3 年生 後期ガイダンス 教務関連の説明

不明な点や詳細に関する質問は教務委員へ
kyomu-info2025@m.hiroshima-cu.ac.jp

説明内容

1. 履修登録（教務）関連の資料について
2. 後期授業について
3. 履修登録と再履修について
 - ・ 情報科学基礎実験の履修方法について
 - ・ プログラミング等の再履修方法について
4. 卒業要件と進級要件について
5. 産学連携教育科目について
6. イノベーション人材育成プログラム
7. 困ったときは教員（チューター等）に相談
8. 成績確認・指導（必携PCで）



履修登録（教務）関連の資料について

- 後期ガイダンスでは、主に教務関係の重要な部分のみ説明します
- 資料は大学ホームページ右上のメニューより

教育・学生生活 → 履修情報 → 履修登録関係資料

から確認できます。ガイダンス資料以外にも重要な情報が掲載されていますので、必ず確認してください。



学年暦、学期(ターム), 授業時間, 授業の注意

2025年度(2025年4月1日～2026年3月31日)

前期(4/1 - 9/30)							後期(10/1 - 3/31)						
第1ターム(4/8 - 6/6)				第2ターム(6/8 - 8/9)			第3ターム(10/1 - 11/27)			第4ターム(11/28 - 2/5)			
4/2	4/2 - 4/7	4/8	6/2 - 6/6	6/7	7/29 - 8/8	8/9 - 9/30	9/29	10/1	11/21 - 11/27	11/28	12/27 - 1/4	1/27 - 2/5	2/6 - 3/31
入学式	オリエンテーション	前期・第1ターム授業開始	第1ターム試験期間	第2ターム授業開始	前期・第2ターム試験期間	夏季休業	後期ガイダンス	後期・第3ターム授業開始	第3ターム試験期間	第4ターム授業開始	冬季休業	後期・第4ターム試験期間	学年末休業

11/24 は授業日

土日祝日は原則休みだが、授業を行う日もあるので資料等を確認

授業時間

時限	時刻
1時限	9:00 – 10:30
2時限	10:40 – 12:10
お昼休み (昼食)	12:10 – 13:00
3時限	13:00 – 14:30
4時限	14:40 – 16:10
5時限	16:20 – 17:50
6時限	18:00 – 19:30

補講時のみ
(普段はない)

授業:90分

休憩:10分

お昼:50分

学修システム UNIPA での出席確認（全授業で必須）

各授業の開始時に

大学として**出欠の厳格管理は今や必須**
システムでお互い効率的に行う

- **UNIPA へログイン**
- 出欠確認画面で**出席をクリック**
- 必要に応じて**出席コードを入力**

各授業で教員より提示
(各教員の指示に従うこと)

- スマホでも手軽に出席登録可能
- オンライン授業や実技・実習系でも全授業で
- **代返や学外での不正登録**などは IP アドレスやログ等でわかります
(不正発覚の際は**出席登録取り消し**の上で、悪質な場合は処罰も)

教室にいないければ
すぐにばれます

未登録(欠席)が続く場合「トラブルに巻き込まれた恐れあり」
と保証人へ連絡することもあるので注意（**見守りの観点**）

授業中のスマホ**利用禁止**

授業中の
スマホ利用
原則禁止！



出席確認時は例外 (授業で利用する際は各教員の指示に従うこと)

授業風景の撮影&ネットへのアップ（公開）は

注意

著作権・肖像権の侵害の恐れあり！

注意

感染症にかかった際の手続きについて

< 10月より下記に変更 > 新型コロナ・インフルエンザ以外の感染症も同様の手続きになりました

寒気・高熱で通学困難

病院で診察してもらい
感染症だった

保健室とチューターに
感染症により欠席する
ことを連絡

医師に治癒したと診断
されるまで登校停止

**感染症罹患証明書
(大学指定様式)**を
持参して病院で記載
してもらう

準備できなかった時は
保健室に相談
(普段から印刷して
持っていると安心かも)

治癒して
通学可能に
なったら

感染症罹患証明書を使って手続き

事務局**教務グループ**に持参

+

チューターと欠席した授業の担当教員に提示

感染症罹患証明書と対象となる感染症の
情報は大学ホームページを確認
トップページ > 教育・学生生活 > 感染症
にかかった場合の授業の出席について

登校停止期間を出席扱いと
するために必要な手続きです

履修登録について

- 履修登録なしで**単位は取れない**（絶対に必要な手続き）
- 時間割表を見ながら自分の時間割表（後期分）を作る
- 「忘れていた・間違えた」では済まされないので注意！**
- Webで期日までに履修登録。** 確認期間に**間違いが無い**か必ず確認

**第4ターム分
も忘れずに**

9月・10月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
9/21	9/22	9/23	9/24	9/25	9/26	9/27
9/28	9/29	9/30	10/1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25

履修登録期間
10/7 17:00 まで

履修確認期間
10/20 17:00 まで

10/3は
履修登録不可！

履修登録と取り消しについて

- **必修科目**は必ず履修（自分のクラスの授業を履修登録）
- 選択科目は自由に選べる（お勧めは初回授業に出てから選択）
- ただし**半期に24単位までしか登録できないので注意！**
- **同じ時間の授業は履修できない！**
- 履修登録後は、**履修取消期間でなければ、登録は取り消せない！**
- 取り消さずに放置すると**全体の成績が下がる**

履修取消期間
(第3ターム科目)
10/24 17:00 まで

10月・11月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	11/1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15

履修取消期間(後期科目)
11/14 17:00まで

第4ターム科目の
取消期間は12/12 - 12/16

情報科学基礎実験の履修方法について

クラス	第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム
ABC	実験 a	実験 b	実験 c	なし
DEF	実験 b	実験 c	なし	実験 a
GHI	実験 c	なし	実験 a	実験 b
JKL	なし	実験 a	実験 b	実験 c

- **クラスごとに** 3 つの実験を上記のように**順に履修**
- **特別な理由**がある場合に限り、順番を変更可（**他クラスでの履修可**）
 - 理由の例：留学、病気・怪我など
 - 申請時期：学期初め（履修登録時）

実験の代表教員と教務委員会の承認が必要

再履修について

- 通常の科目同様、Web 上で履修登録可能
- **注意：同じ時間の授業は複数履修することはできない！**
- 原則、**自分のクラスの科目**を履修登録
- ただし、以下の科目は注意（不明な場合は科目担当者に問合せ）

「**プログラミング II**」「**線形代数学II**」の再履修：
事務局から通知された **自分のクラス** を登録・受講

「**批判的創造的思考法**」の再履修：
イノベ登録学生も含めて **再履修クラス** を登録・受講

「**英語科目**」の再履修：
大学ホームページにある履修登録関連資料の指示に従って登録・受講

数学リメディアル教室への参加募集

「解析学I」もしくは「線形代数学I」の**単位未修得者対象**
元予備校講師による試験の傾向と対策の授業

「解析学II」や「線形代数学II」の理解にも役立つ

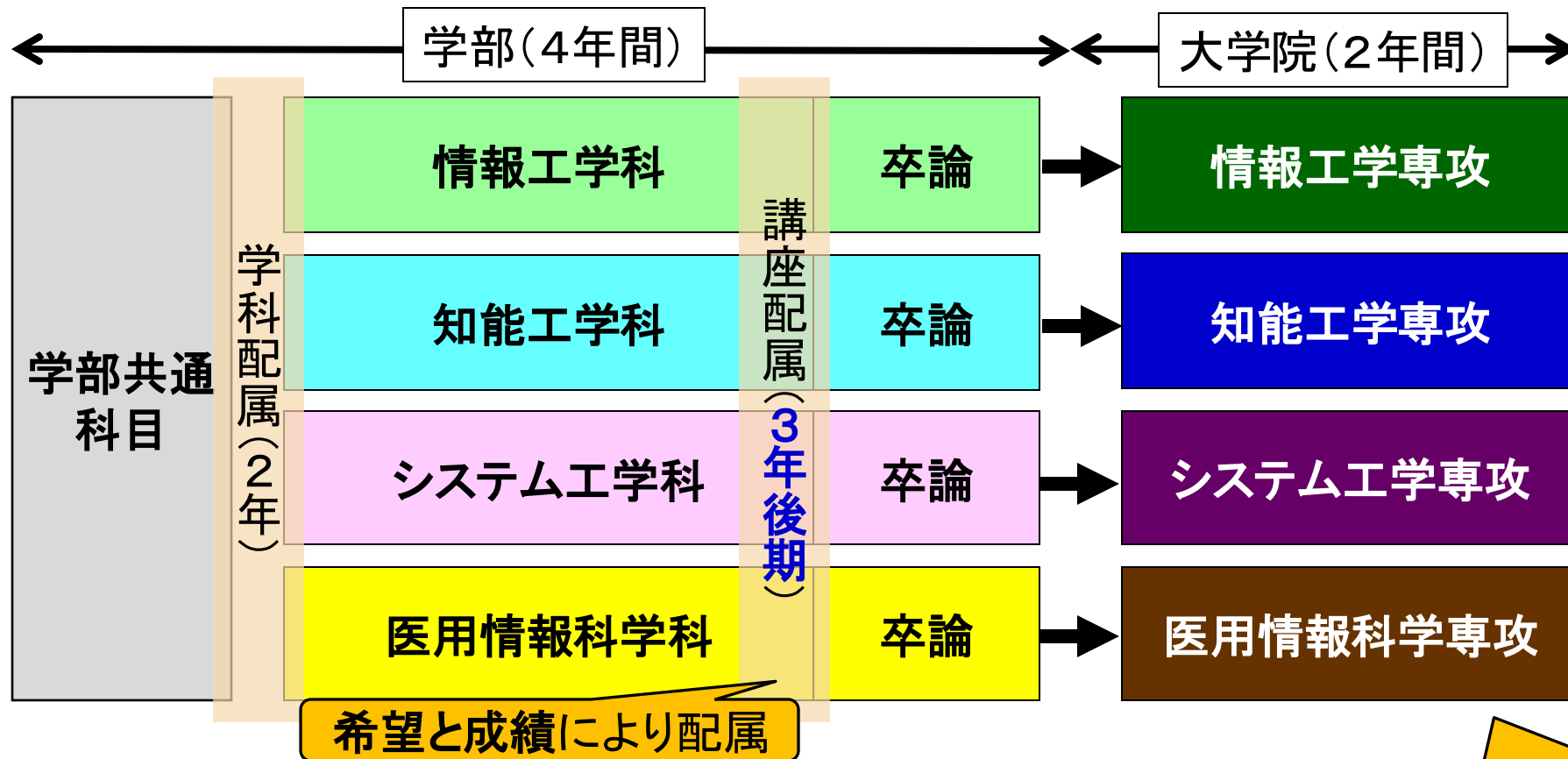
期間: 10/3(金)～1/23(金)
時限: 毎週金曜1限 or 2限(週1コマ)
場所: 401 情報処理実習室1
申込方法:
10月1日(水)までにWeb申込
(右のQRコードからアクセス可能)



他学部・他学科授業科目の履修について

- **授業担当教員**および**教務委員会**の承認が必要
 - Web上で自学部・自学科科目と同じ様に登録可能
 - 他学部・他学科科目は**あわせて10単位まで**は卒業単位に加算可能
 - 他学部科目は**総合共通科目**として
他学科履修は**専門教育科目**として加算可能
- 闇雲な他学部・他学科履修は計画的な学びを崩す恐れがあるので注意

講座配属と大学院について



総合型選抜入学者とイノベ登録者は3年前期から優先配属（配属方法は各学科で決定）

大学院で、**技術者・研究者**に求められる知識・技能を更に深く学ぶ（6年間教育）

講座への早期優先配属

- 総合選抜入試での入学者および
- イノベーション人材育成プログラム登録者は
- **3年前期から講座へ優先配属**

一般学生より優先
されるという意味

(講座の受け入れ人数制限もあるので、

希望通りの配属になるとは限らないことに注意)

学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)を確認しよう！

4年間の学びを通じて、身に付けておくべき
能力をまとめたもの
(卒業時の目標)

2025年度入学生版 学修の手引き

情報科学部

人材育成の目標

情報科学部は、以下の専門分野における基本的な知識・技能を基に、高度情報化社会を支え創造していくことができる人材を育成します。

〔情報工学分野〕

コンピュータやネットワークなどの情報基盤技術に関する分野

〔知能工学分野〕

人工知能を支える数理、知識情報処理、ソフトウェア技術に関する分野

〔システム工学分野〕

情報システム全体の調和と協調を図った創造的なシステム化技術に関する分野

〔医用情報科学分野〕

情報科学・自然科学・工学を基に、医用、生命、環境などへの活用技術に関する融合分野

学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

情報科学部は、下記に挙げる3つの観点における能力を修得した者に対して卒業を認定し、次に示すように、修得した内容に応じて「学士(情報科学)」または「学士(情報工学)」を授与する。

・学士(情報科学)：情報科学における真理の探究に必要な能力を主に修得した者

・学士(情報工学)：情報科学の活用による課題解決に必要な能力を主に修得した者

〔知識・技能〕

1. 多様な文化・価値観を尊重するための人間、社会、自然に関する幅広い知識を身に付けている。(知識)
2. 情報科学または情報工学における技術者や研究者に求められる基本的な知識を身に付けている。(知識)
3. 情報科学または情報工学の課題に取り組み、結果や考察を理論的に記述することができる。(技能)
4. 国際的なコミュニケーションのための基礎的な語学力を身に付けている。(技能)

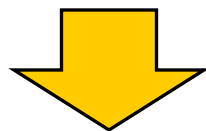
〔思考力・判断力・表現力〕

1. 情報科学または情報工学における知識・技能に基づき、論理的・合理的に思考・判断することができる。(思考力・判断力)
2. 技術者・研究者として自分の考えを分かりやすくプレゼンテーションすることができる。(表現力)

〔主体性・協働性〕

1. 情報科学の切り口から真理の探究または社会的課題の解決に向けて主体的に取り組むことができる。(主体性)
2. 多様な価値観や新たな技術・知見を受け入れ、課題の解決に向けて協働して取り組むことができる。(協働性)

自分の強みや弱みと見比べ、目標に向け、
高めるべき能力を意識しながら科目を履修
しよう！

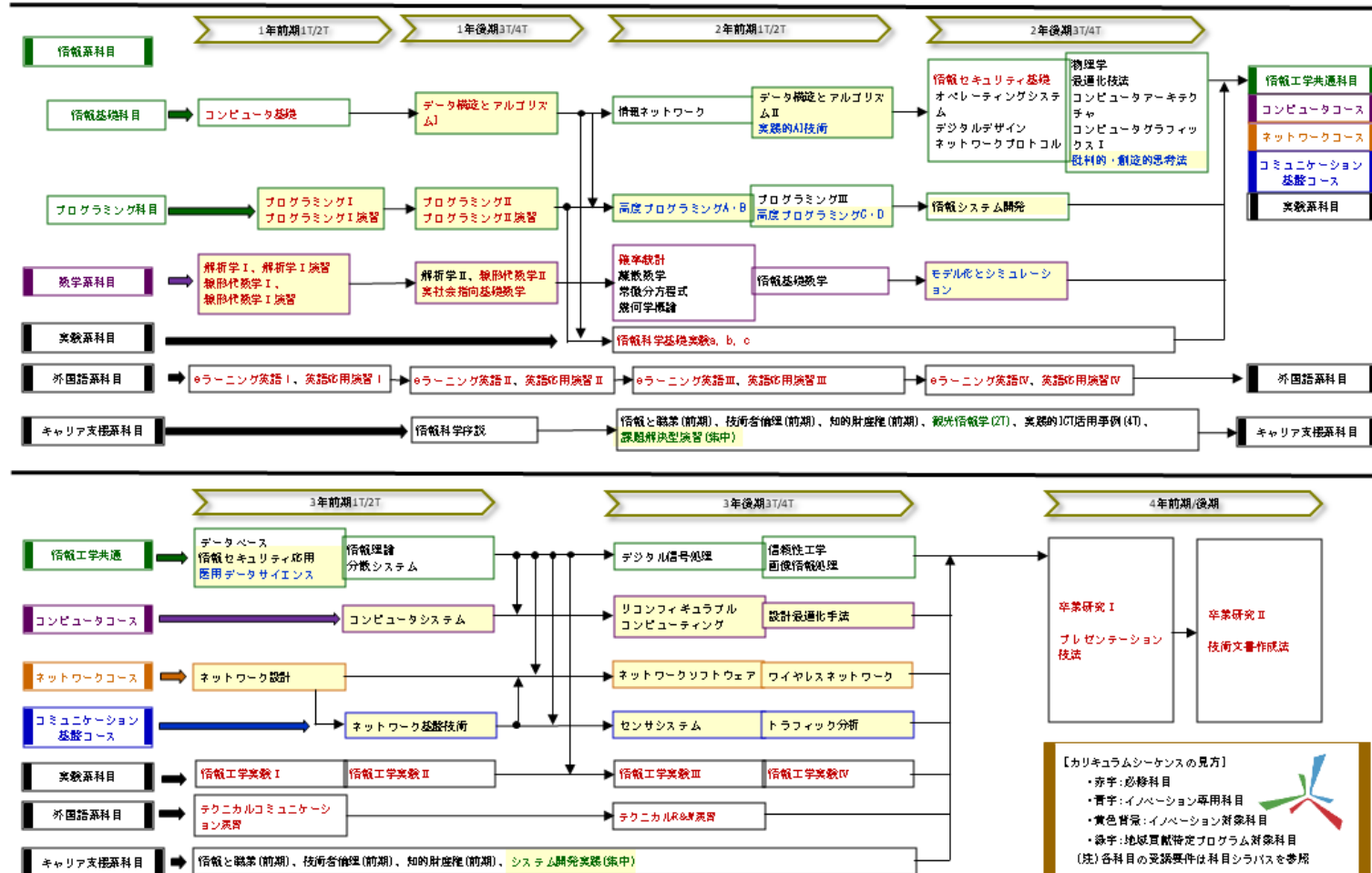


就職活動での
アピールポイントになる

専門教育科目はカリキュラムシーケンスを参考に

学科ごとに用意されているカリキュラムシーケンスを参考に計画的な学習を

情報工学科カリキュラムシーケンス



単位互換制度とキャリア関連科目について

- **他大学の科目**を本学の単位として認定可能（**単位互換制度**）
 - 教育ネットワーク中国に所属する大学が提供する科目
 - 広島・地域志向科目として認定
 - 詳しくは事務局 教務グループ担当まで
- キャリア形成・実践科目（**1単位以上必要**）
 - **キャリアデザイン i**（1・2年、1T）、**キャリアデザイン ii**（1・2年、4T）
 - インターンシップベーシック（1・2年、2T・3T）
 - キャリアサポートベーシックA・B（2・3年、前期・後期）
- キャリア支援系科目（専門科目）
 - **課題解決型演習**（2年集中）、**実践的ICT活用事例**（2年4T）

注意：受け付け時期などの詳細は掲示板等で案内されるので注意

教職免許状関連の科目について

- 取得可能な教員職員免許状の種類

- 高等学校教諭一種免許状（**情報**）
- 高等学校教諭一種免許状（**数学***）

* 医用情報科学科では数学は取得できない

- 取得するには？

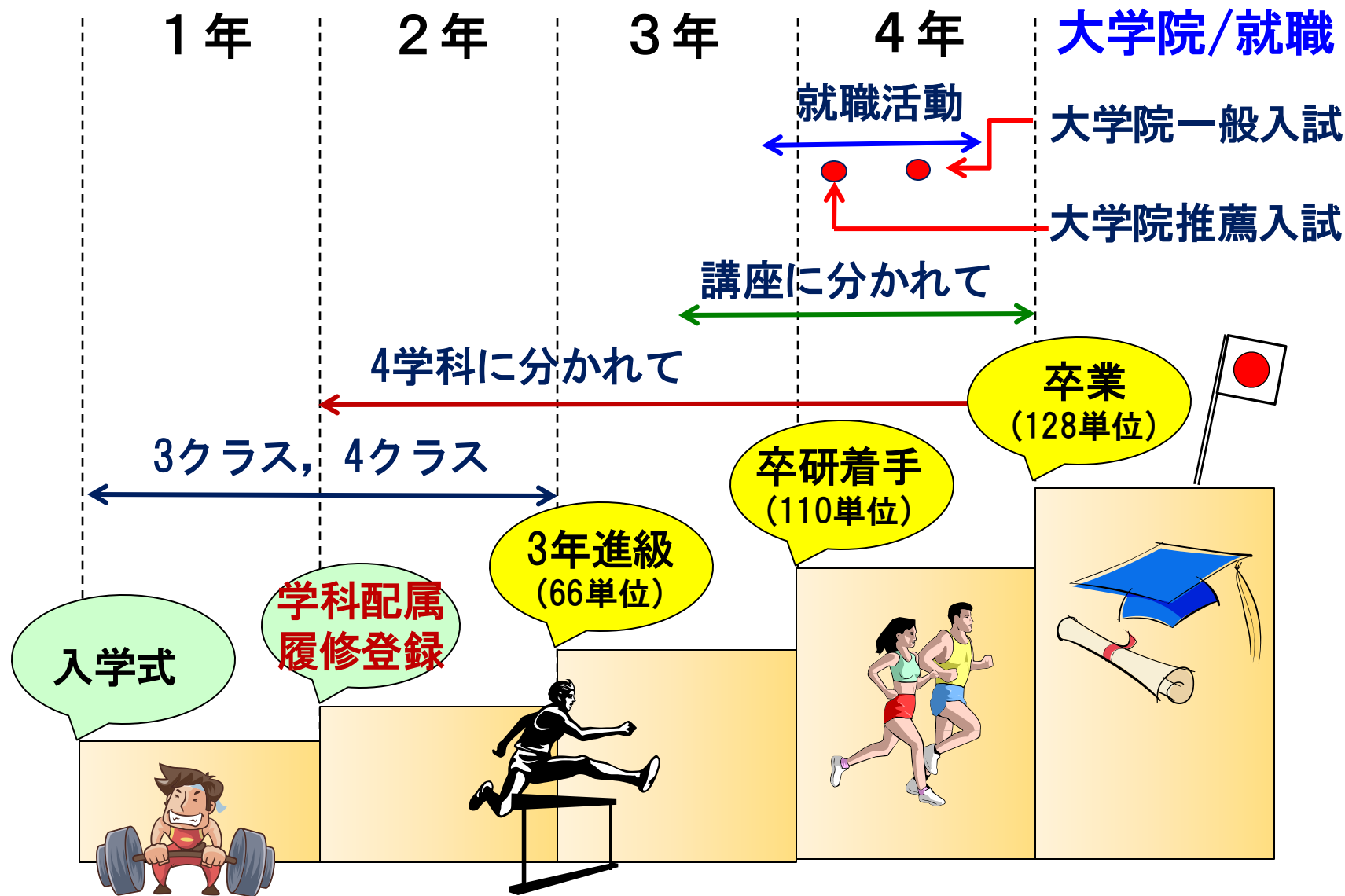
- **指定された専門教育科目**の履修（教科の専門知識）
- **教職課程用科目***の履修（教育の基礎的な知識など）

* 卒業要件の単位数に含まれない（**自由科目**扱い）



注意：履修登録の際に教職課程登録届けの提出が毎回必要！

卒業要件と進級要件について



卒業要件

科目区分			必要単位数
全学共通系科目	総合共通科目	広島・地域志向科目	2 単位以上
		平和科目	2 単位以上
		共通科目A（人間と社会）	4 単位以上
		共通科目B（数理と自然）	4 単位以上
		共通科目C（芸術）	2 単位以上
		初年次演習科目	1 単位
		キャリア形成・実践科目	1 単位以上
		小計	16単位以上
	一般情報処理科目		2 単位
	保健体育科目		2 単位
外国語系科目			8 単位以上
全学共通 + 外国語系科目合計			33単位

科目区分		必要単位数
専門教育科目	学部共通科目	95単位
	専門基礎科目	
	専門科目	

- ・ 講義：90分 × 15回で2単位
- ・ 演習・実習：90分 × 15回で1単位

- ・ **必修科目**：卒業に必要な科目
- ・ **選択科目**：卒業単位に加算され選べる
- ・ **自由科目**：卒業単位に加算されない

卒業必要単位数：128単位

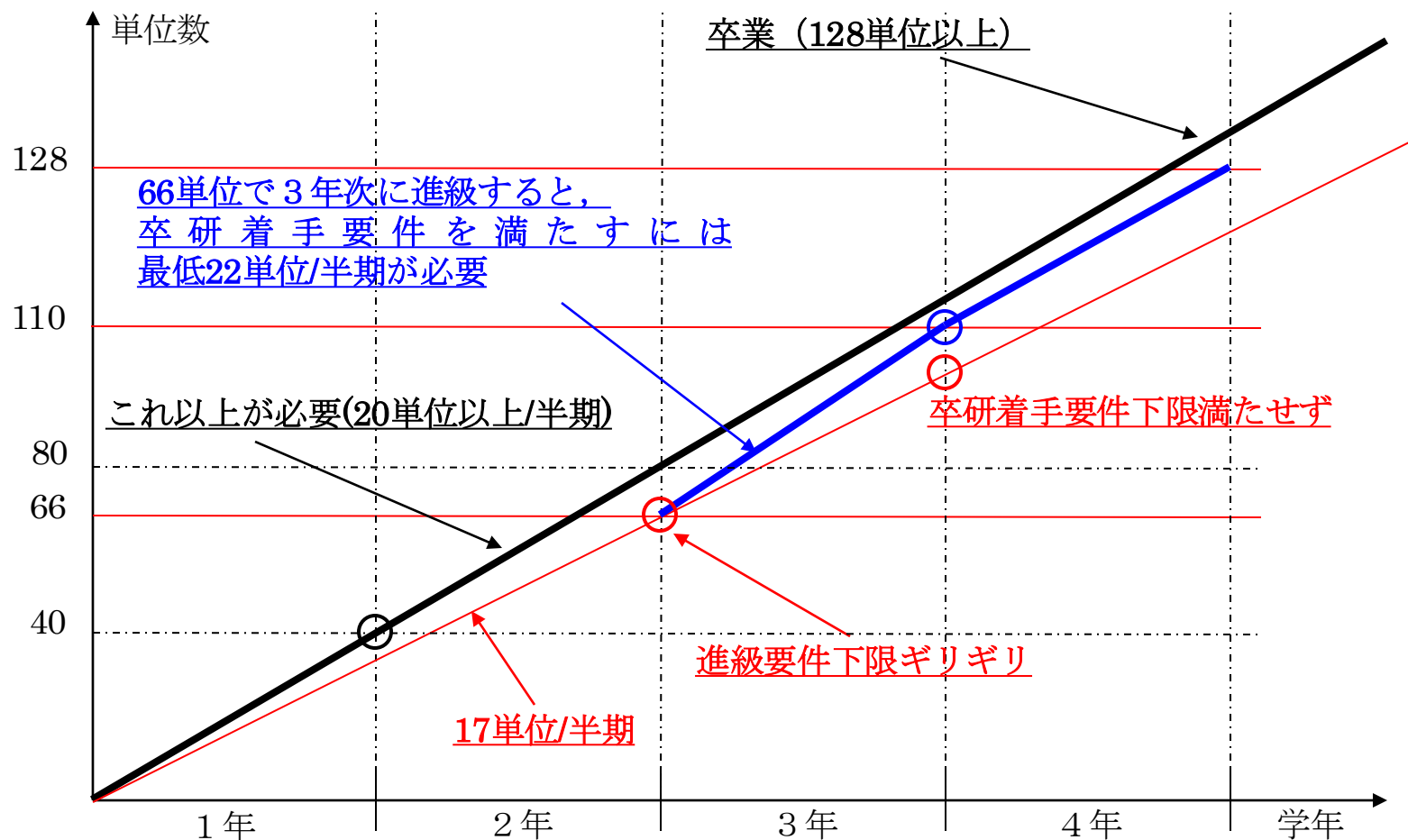
進級・卒業要件の確認

- 3年次進級要件（2年 → 3年）
 - 単位数：**66単位**以上（80単位が目安）
 - 情報科学基礎実験、プログラミングⅠ・Ⅱ演習、**eラーニング英語Ⅰ・Ⅱ（TOEIC 250点以上）**の単位修得
44単位が必要（上限：48単位/年）
- 4年次進級要件（3年 → 4年）
 - 単位数：**110単位**以上
 - すべての必修の実験・演習科目および**eラーニング英語Ⅲ・Ⅳ（TOEIC 350点以上）**の単位修得
- 卒業要件
 - 単位数：**128単位**（全学共通系＋外国語系：33単位、専門教育：95単位）
 - すべての必修科目の単位修得
 - 卒業論文の執筆、卒業研究の発表

TOEICは大学院入試
や就職でも重要



計画的に単位を取ろう！



TOEICについて

- 早い時期から計画的に受験対策を！
 - 3年次進級要件：**250点**以上（授業内 TOEIC）
 - 4年次進級要件：**350点**以上（授業内 TOEIC）
 - 大学院推薦資格：**400点**以上
 - 就職：
 - 海外出張：**600点**以上
 - 海外駐在：**730点**以上
- 試験日程に注意
 - 年10回実施（何回でも受験可）
 - 結果の発送は試験日の約1ヶ月後



成績とGPA (Grade Point Average)

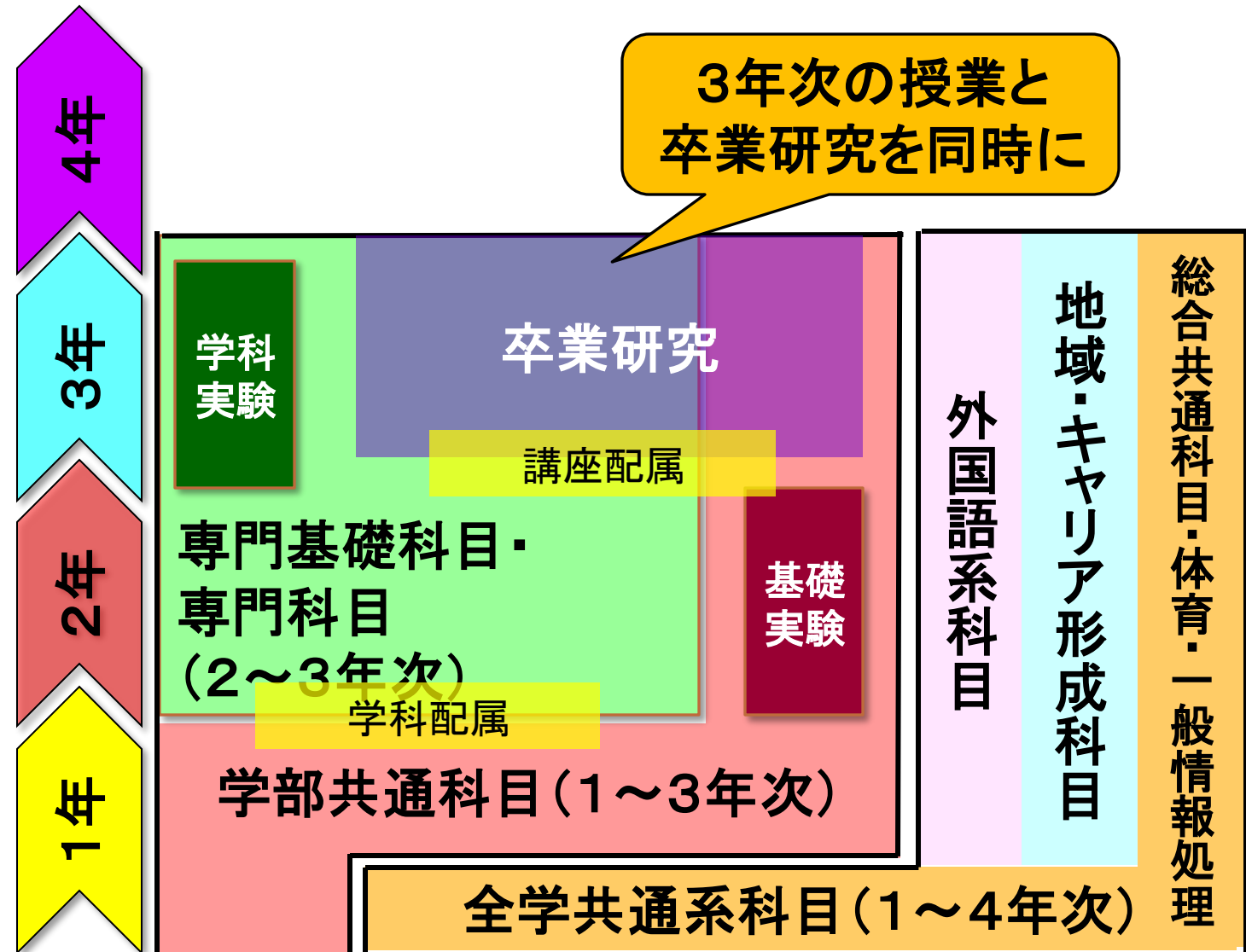
成績評価 (5段階)

評価	評点	Grade Point	合否
秀	90 - 100 点	4	合格
優	80 - 89 点	3	
良	70 - 79 点	2	
可	60 - 69 点	1	
不可	59 点以下	0	不合格

$$\text{GPA} = \frac{(\text{成績評価を受けた科目のGP} \times \text{当該科目の単位数}) \text{の合計}}{\text{成績評価を受けた科目の単位数の合計}}$$

成績優秀者への優遇措置

- **講座配属で有利**
- **特待生制度**
 - 2～4年次 5名程度
 - 副賞として奨学金20万円
- **早期卒業**
 - 3年または3年半で卒業
- **大学院への推薦**
 - 成績優秀（学科ごとに基準）
 - TOEIC400点以上
 - 面接のみで大学院へ進学



5. 産学連携教育科目について

2022年度より
スタート

企業と連携した実践的教育で

皆さんの意欲向上と将来像の明確化を狙った科目群（3科目）

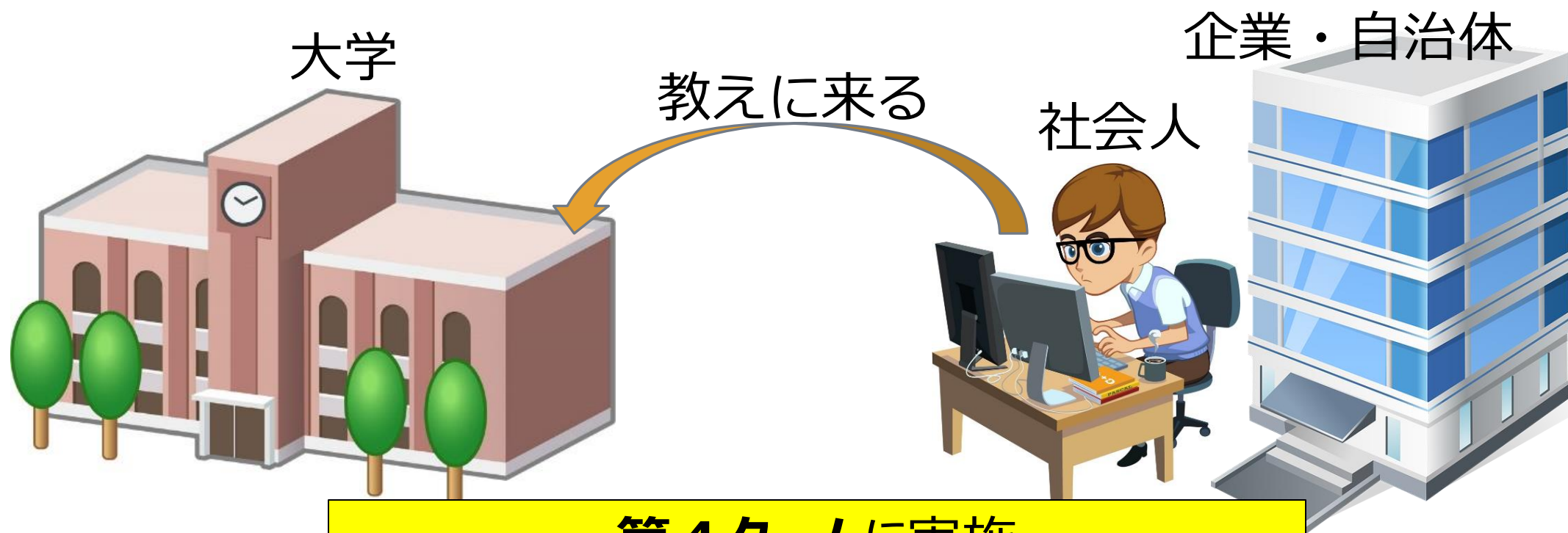
- **実践的ICT活用事例**（2年後期）：
ICTが社会でどう活用されているかを**知る**科目
- **課題解決型演習**（2年集中）：
地域・企業課題の解決法を検討し学びを**深める**科目
- **システム開発実践**（3年集中）：
学んだ知識・技能を現場で**実践する**科目

学びと社会のつながりを体験できるので是非受講を！！

実践的 ICT 活用事例(2年後期)

2020年度以前
入学生は履修不可

皆さんが学んでいる情報科学が社会でどのように活用されているか？
どのように役立てられているか？を**知る**講義科目（2単位）

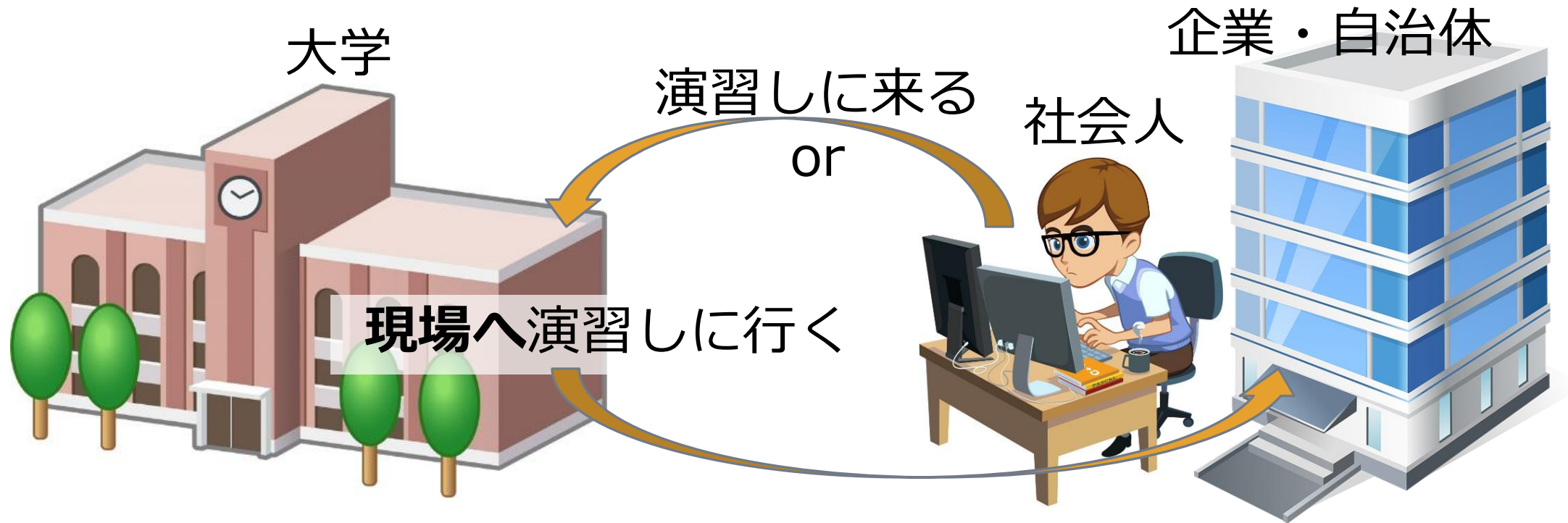


第4タームに実施
(通常の科目として履修登録すればOK)

課題解決型演習（2年集中）

実施済み（後期での
募集はない）

皆さんが学んでいる情報科学技術で地域や企業の課題をどのように解決するか？を演習を通して考え、学びを**深める**演習科目（1単位）

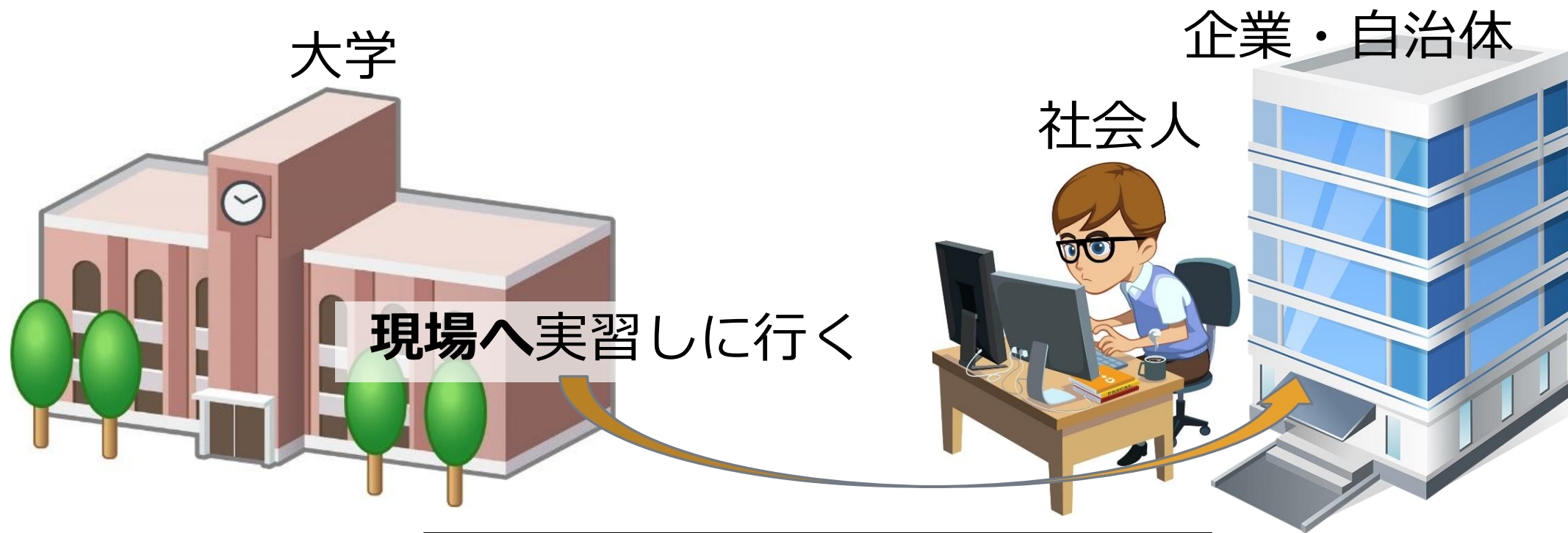


社会人の方々と一緒に演習

システム開発実践(3年集中)

実施済み(後期での
募集はない)

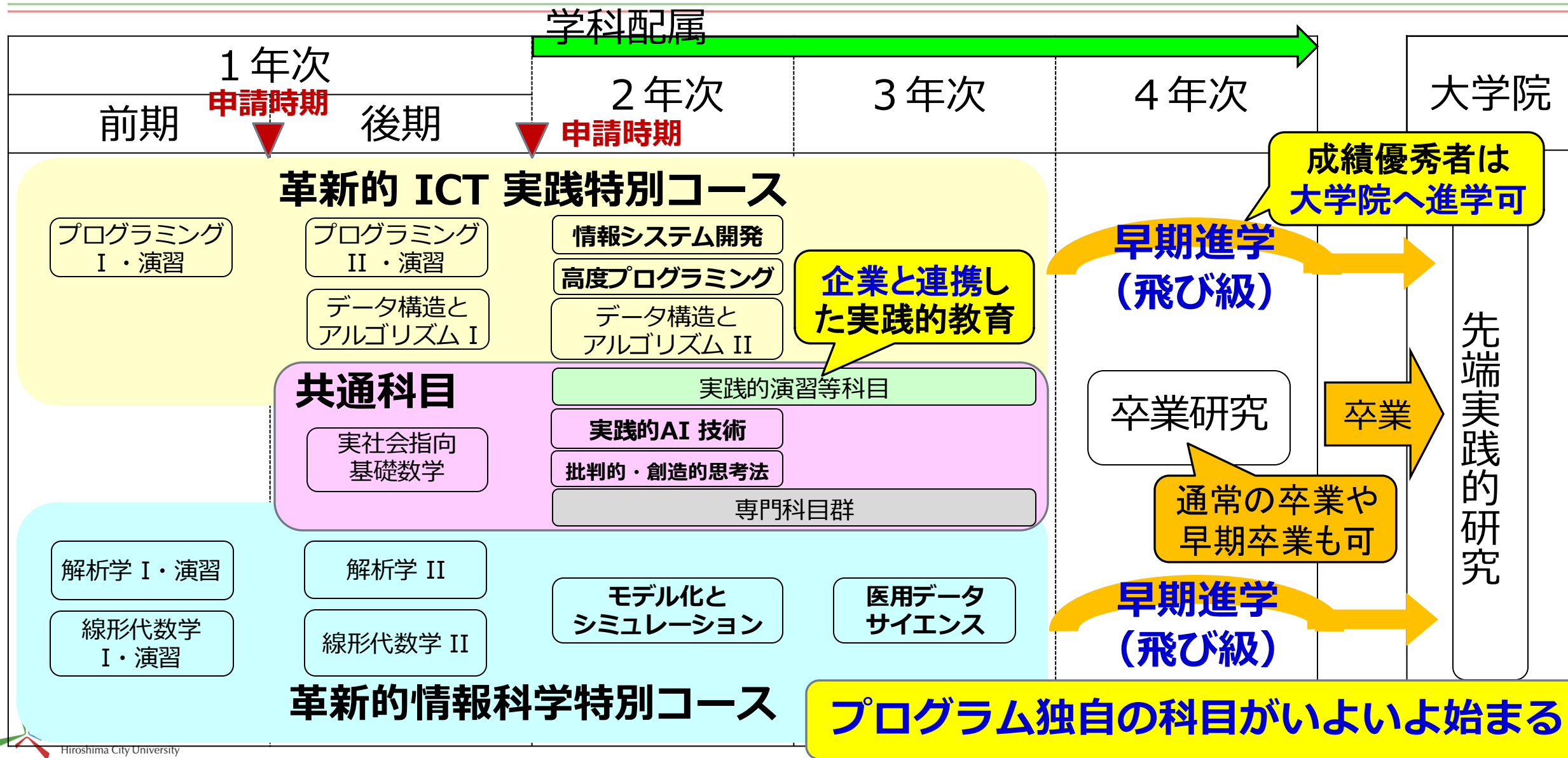
皆さんが学んでいる情報科学技術を、実際の開発現場でシステム開発などに**実践する**実習科目(2単位)



現場で腕試ししながら就業体験！

イノベーション人材育成プログラム

2021年度
以降入学生



高度プログラミング（各1単位科目）

- 高度プログラミングA（第1ターム）

- **プログラミング言語**について深く学ぶ

全て取る必要はない
2科目以上取れば良い

- 高度プログラミングB（第1ターム）

- SNSからの**データマイニングプログラム**について学ぶ

- 高度プログラミングC（第2ターム）

- **ウェブプログラミング**について学ぶ

- 高度プログラミングD（第2ターム）

- **VRシステム**開発について学ぶ

イノベの専門科目群と実践的演習等科目

専門科目群(学科毎に整備)

情報工学	知能工学	システム	医用情報
情報セキュリティ応用	グラフ理論	確率過程論	バイオインフォマティクス 1, 2
コンピュータシステム	人工知能	数値計算法	量子力学、統計力学
リコンフィギャラブル コンピューティング	感性情報処理	メカトロニクス	医用データサイエンス
設計最適化手法	機械学習	画像情報処理	デジタル信号処理
ネットワーク設計	データマイニング	制御工学1	制御工学
ネットワークソフトウェア	情報検索	ロボティクス1	電気電子計測
ワイヤレスネットワーク	画像情報処理	デジタル無線通信	生体情報工学
ネットワーク基盤技術	自然言語処理	オペレーティング システム	医用情報システム開発
センサシステム	情報理論	パターン認識	医用情報通信工学
トラフィック分析	パターン認識	ヒューマン インタフェース1	医科学概論1, 2

実践的演習等科目

- ・ 課題解決型演習（2年）
- ・ システム開発実践（3年）

企業等から提示された課題に
チャレンジする実践的演習

2つのうちどちらかが必要

- ・ 3年次科目が多い
- ・ 科目シーケンスを参照の上、
基礎の科目を計画的に履修

イノベーション人材育成プログラム修了認定条件

1. **プログラム参加の申請**（**1年後期**または**2年前期**の履修登録時）
2. **共通科目群**の全科目（**6単位**）を修得
3. **数学系科目群**から**14単位** または
プログラミング系科目群から**14単位以上** を修得
4. 自学科の**専門科目群**の中から**6単位以上**を修得
5. **実践的演習**等の科目**1単位**を修得

合計**27単位以上**
で修了可能

- 通常の科目との重複も多いので、**少しの追加科目の修得で修了可能**
- 意欲があれば誰でもチャレンジ可能（**得意分野の成績が大事**）
- プログラムはいつでも止められる（修了まで何年かかってもOK）

イノベの制度を利用して早期進学(飛び級)で大学院入試を受験するには(1)

早期進学(飛び級)で大学院入試を受験するためには、出願前に事前審査を受けなければなりません。以下をすべて満たす人にその資格があります。

- ① 2年次までに**全学共通系科目の各区分および外国語系科目**について卒業要件を満たす単位数(合計が33単位以上)を修得していること
- ② 2年次までに開講された**学部の専門教育科目の必修科目**の単位をすべて修得していること
- ③ 3年次までに**修得見込みの単位数**が、卒業要件単位数から4年次に開講される必修科目の単位数を除いた単位数以上であること
- ④ **イノベーション人材育成プログラムで優秀な成績を収めていること**
- ⑤ 人物面で優れ、志望する専攻に対する**熱意と適正**を有すると認められること

次ページで
補足

※ これは大学院入試の募集要項に記載される内容です。年度により内容が一部変更になる可能性もありますので、受験年度の募集要項をよく確認してください。

イノベの制度を利用して早期進学(飛び級)で大学院入試を受験するには(2)

前ページ④「イノベで優秀」は、以下をすべて満たす見込みがあるかどうかで評価されます

- a. **大学入学後**(休学期間を除き)**3年間**でイノベ修了見込みであること
- b. イノベ科目(共通科目群, 数学系科目群かプログラム系科目群のどちらか一方, 専門科目群, 実践的演習等科目)のうちで**5科目以上で「秀」**の成績を修めていること
- c. **必修の実験をすべて「優」以上**の成績で修めていること

- 大学院へは推薦入試で (**奨学金の対象**)
- 卒業はしないが**学位の取得は可能** (卒業と同等)

詳しく知りたい人は教務委員に問い合わせてください

目指せ！ひろしま地域リーダー

地域志向特定プログラム

地域に愛着・誇りを持ち、地域の発展に貢献する人材を育成する**教育プログラム**

地域志向特定プログラム修了 + 地域貢献テーマでの卒業研究

||

ひろしま地域リーダーの称号！

イノベーション人材育成プログラムへの
のちよい足しで同時に取れちゃう？

地域志向特定プログラム修了認定条件

次のAからCを含めて **8 単位以上取得** すること

うち2単位は卒業要件

A) 広島・地域志向科目群から 4 単位以上

B) 「地域課題演習」または「課題解決型演習」から 1 単位以上

C) 「観光情報学」または「システム開発実践」から 2 単位以上

下線の2科目はイノベの(選択)必修

イノベ受講者であれば、

- ・ 広島・地域志向科目群から 1 科目
 - ・ 「地域課題演習」または「観光情報学」の 1 科目
- の合計 2 科目の追加で地域志向特定プログラムを修了可！

地元企業と卒業研究で地域リーダーの称号！

困ったときは教員（チューター等）に相談

チューターは相談窓口

守秘義務を負っているのでご安心を

- 学業だけでなく、学生生活、プライベートな相談も悩み事があったら気軽に相談しましょう！
- きっと良きアドバイスがもらえます
- 必要に応じて、大学側に掛け合ってもらえます



各学科のチューターの紹介

皆さんの担任のような存在

2年生
(2024年度入学生):

学科	チューター1	チューター2
情報工学科	稲村 勝樹	岩垣 剛
知能工学科	関根 光弘	岡本 勝
システム工学科	小作 敏晴	厚海 慶太
医用情報科学科	齋藤 徹	藤原 久志

3年生
(2023年度入学生):

情報工学科	谷川 一哉	井上 伸二
知能工学科	宮原 哲浩	森 康真
システム工学科	高井 博之	辻 勝弘
医用情報科学科	福田 浩士	常盤 達司

教務委員と学生委員の紹介

教務関係のサポート

クラス	教務委員	学生委員
Aクラス	(小畑 博靖*) 舟阪 淳一 上土井 陽子	弘中 哲夫* 高橋 賢
Bクラス		
Cクラス		
Dクラス	田村 慶一 宮崎 大輔	松原 行宏 黒木 進
Eクラス		
Fクラス		
Gクラス	(小野 貴彦**) 田中 輝雄 脇田 航	中山 仁史 桑田 精一
Hクラス		
Iクラス		
Jクラス	長谷川 義大 鷹野 優	式田 光宏** 常盤 達司
Kクラス		
Lクラス		

学生生活のサポート

学生案内、学修の手引きとシラバス

- 学生生活に関わることはすべて[学生HANDBOOK](#)に記載されている
- **困ったこと・疑問・悩み**があったら、学生案内(Web)を確認
 - 答えが見つかる場合が多い
 - 卒業するまで必要なのでブックマークしておくの良い
- 同様に、授業や履修に関わることは[学修の手引き](#)に記載されている
- 講義内容は[Web掲載のシラバス（授業概要）](#)で確認できる

学則や各所への
問合せ先も載っている

学生案内(Web)や学修の手引きは
ウェブ上で24時間いつでも貴方をサポート

最後に

- 卒業・就職が大学のゴールではありません
 - 大学は**社会での活躍に向けた訓練**をするところです
 - **トレーニングの習慣**や**トレーニングの方法**を身に付けるところです
- 社会でも活躍する人財になれるよう、**主体的に学びましょう**
 - 自分が**やりたいこと・得意なこと**を大学生のうちに見つけましょう
 - **色々なことにチャレンジ**してみなければ、みつきりません
 - 就職のときに**アピールできる材料**を今からそろえておきましょう
- 我々教員は、皆さんの主体的な学びを応援します

大学を遊んで過ごせる
時代は終わりました

ご清聴
ありがとうございました



不明な点や詳細に関する質問は教務委員へ
kyomu-info2025@m.hiroshima-cu.ac.jp